

# TO FIT RUST STOPPER

[ツーフィット・ラストストッパー]

## 簡単装着&末長くサビを 食い止める効果で満足感も抜群

- 価格  
軽自動車&リッターカー専用/1万7000円+税  
レギュラータイプ/2万2000円+税  
ヘビーデューティータイプ/2万7000円+税  
24V専用タイプ/3万円+税



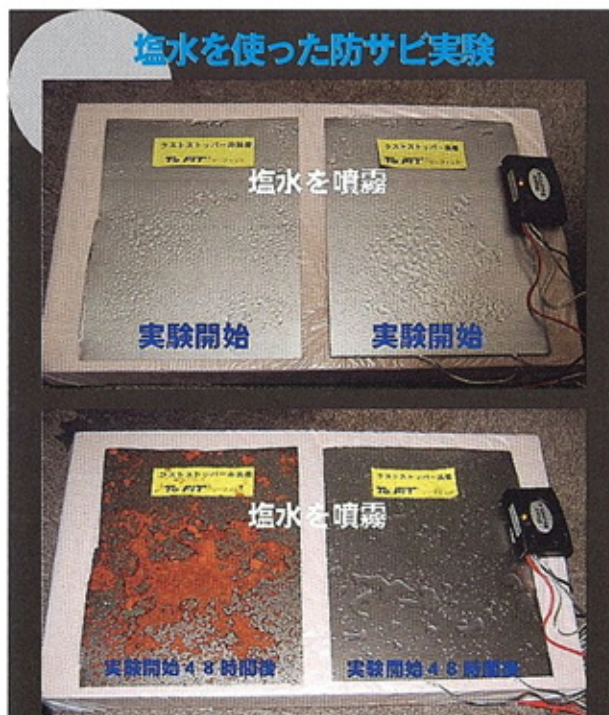
電子サビ防止装置ラストストッパー

【セット内容】本体ユニット (HD:4本ワイヤー、RE:軽:3本ワイヤー)、本体固定テープ、配線用タイラップ、固定部クリーニングクロス



### ジムニープラス7月号で装着した ラストストッパーを検証してみよう!!

●問い合わせ  
ツーフィット  
TEL.045-253-7945  
神奈川県横浜市中区長者町 5-75-1  
http://www.to-fit.co.jp



これほどまで圧倒的に威力抜群なら  
効果は約束されたようなもの

以前紹介したラストストッパーが持つ圧倒的な防錆効果を証明する実験を今一度。2枚用意した鉄板の1枚にだけラストストッパーを装着し、それぞれ同量の高濃度塩水を数時間おきに噴霧。48時間経過しての結果が写真下。ここまで差が付くのか、と驚嘆してしまうほどサビが大量発生した未装着側に対し、装着側は見事にキレイなまま。これぞ目に見える電子被膜の威力である。

ボディの隅々までチェックしても現在サビの発生は皆無

金属の酸化現象でもあるサビ。防ぐためには金属表面を酸化の原因でもある酸素を含む空気に直接触れさせないようにすればいい。塗装やワックス、コーティングはそのための措置でもあるが、いったんキズなどで露出してしまえば、当然、サビてしまう。とりわけジムニーの場合はアウトドアユースなどで一般的なクルマよりハードに扱われるケースが少なくない分、サビの危険度も増大。というわけで恒久的なサビ防止策はないものかと調べた結果、金属に常時微弱な電気を流すことで電子を補充、酸素との結合を起させない、いわば電子被膜原理でサビを防ぐ「ラストストッパー」をチョイス。欧米で50年以上前からパイプラインや橋げたなどサビては困る部分に用いて実績を上げている確立された技術、なおかつ製品のにも20年前から販売されている信頼性抜群、などの点が判断する決

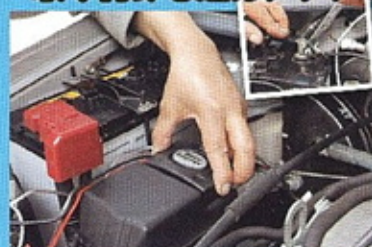
め手となった。

7月号誌面を飾った製品紹介&装着手順から3か月、梅雨に加え、予想以上に降雨が多かった今夏を乗り切った装着ジムニーの結果は：見事に皆無。もともと目立っていたサビは発生していないが、ボディやフレームの継ぎ目など弱い部分にも一切発生が見られなかったのはさすが。

もっとも、正直、まだこの程度の期間では検証する時間として短か過ぎるのも事実。ワックスやコーティングがかららないフレーム、ボディ下回り、エンジンルームなど特定部分を、それぞれ年単位の継続的なチェックを行わない限り厳密、かつ最終的な結論は下しにくい。そこは先に記した通り欧米での実績に置き換えて考えれば良さそう。何より明快な効果がなければ、20年もの長きに渡って支持され続けるはずがないのだ。

装着簡単、費用対効果抜群、何より安心感や満足感まで得られるラストストッパー、お世辞抜きにオススメです。

取り付けも超カンタン!! “DIYで挑戦してみよう”



作業時間 15分

基本的にはバッテリーから電源を取り、本体から出ている配線2本の先に付いた端子をボディ金属部2か所に接続すれば完了。本体固定位置や電源のバッテリー装着手順(マイナス電極側配線を外してからプラス電極側を接続)さえ確実なら何も難しいことはない。